

小松均《最上川源流》より、《長井付近その1》、《長井付近その2》1970



横山肇山《紅花屏風》右隻 1823、左隻 1825 ©長谷川コレクション

山形美術館開館 50 周年記念

# 山形の美術

山形美術館の歩みとともに



与謝蕨村《奥の細道図屏風》1779 ©長谷川コレクション

2014年 10月17日[金]—11月16日[日]

平成 26 年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

□開館時間＝午前10:00-午後5:00 [入館受付は午後4:30まで] □休館日＝月曜日[ただし11月3日は開館し、4日休館]  
 □主催＝山形美術館・山形新聞・山形放送・山形県 □共催＝公益財団法人山形県生涯学習文化財団 □後援＝山形市  
 □入館料＝一般800円 高大生600円 小中生400円 [団体20名以上各2割引]  
 ※「東北文化の日」参加の一環として、土曜日、10月26日(日)、11月3日(月祝)は中学生以下無料

**山形美術館**  
 〒990-0046  
 山形市大手町 1-63 Tel.023-622-3090  
<http://www.yamagata-art-museum.or.jp/>

# 山形 の 美術

山形美術館の歩みとともに

1964(昭和39)年8月20日に開館した山形美術館は、今年で50周年を迎えました。10月10日の東京オリンピック開催に向け、東京を中心に大きく社会が変貌する中、官民協力のもとに財団法人を設立し開館。以来、地方に根ざす美術館として、国内外の優れた美術の紹介をはじめ、県民の美術愛好家による公募展や団体展などを開催してきました。

また美術作品の収集活動においては、「日本および東洋の美術」「山形関係の美術」「フランス近代美術」の3つの方針に基づき、美術作品の収集活動を行ってきました。なかでも、開館して間もなく重要文化財や県指定有形文化財を含む長谷川コレクションの寄贈や、県出身の作家・遺族からの作品寄贈、また収集方針に沿った作品の寄託などにより、山形の文化や美術に関する作品の充実が図られました。

本展は山形美術館の50年の歩みを振り返るとともに、当館の収蔵品から優品を厳選し、みちのく「山形」の自然や風土を反映させた絵画、彫刻、

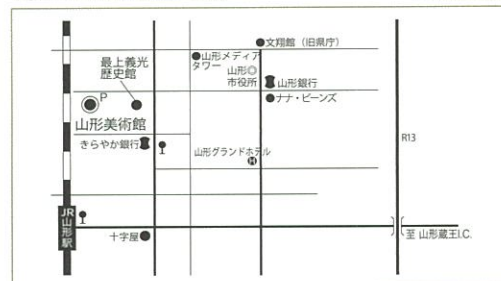
工芸など、山形にゆかりのある作家による個性溢れる多彩な表現を紹介します。



新海竹太郎《ゆあみ》1907



吾妻兼治郎 (MU-731, 732) 1973



楢上富治《ネックレスを持つ少女》1935



菅原白龍《老梅之図》



富岡鉄斎《月夜梅花図》



渡辺崋山《溪澗野地図》1837



樺貞雄《落日(代々木附近)》1914



金山平三《山仕事の帰り》1942



新海竹蔵《少年》1963



桜井浜江《象》1947



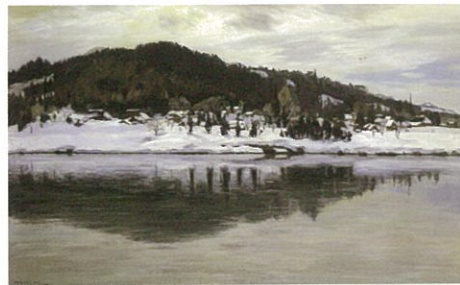
斎藤長三《雪(市井風景)》1940



高橋由一《鮭》



菅野矢一《月の夕》1962



真下慶治《最上川浅春》1944



近岡善次郎《雪の浴生館》1984



桜井祐一《支那服の女》1940



福王寺法林《雪煙のマチャブチャレ》1985



今野忠一《火山湖》1963



長野拓志《敷石文焼口茶釜》



本間健華《涌流乾漆うつわ》1975



中川哲哉《軸盆》



結城哲雄《蒔絵香爐卓》

## ■山形美術館への交通案内

徒歩 JR山形駅東口から徒歩15分  
 バス 「中心街100円循環バス」霞城公園前下車徒歩4分  
 車 山形自動車道山形蔵王ICから約15分  
 山形美術館北側に無料駐車場がございます。  
 美術館前の山形市大手町駐車場は有料です。

## ■関連イベント

- 館長記念講演会  
 11月9日[日] 午後1時30分-3時 3階ホール  
 「山形美術館の50年」
- 学芸員によるギャラリー・トーク  
 10月26日[日]、11月2日[日] 午後2時-

[参加は無料ですが、本展入館料が必要です]

## 山形美術館

〒990-0046 山形市大手町1-63 tel. 023-622-3090  
<http://www.yamagata-art-museum.or.jp/>